第 2017-51 号

恵みと真理のニュース

2017 年 12 月の三次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

[証]

愛する娘のウンジョンを治療をしてくださった神様に感謝します

わたしは京畿道のイルサンで１男2女の中で長女で生まれ貧しい家庭で育ちました。早く母が亡くなって私が家のことをしなければいけなかったです。勉強を続けてしたくて家を離れでアンヤンに来て会社で勤務しながら夜間高校を通いました。寮生活をしながら先輩の信仰生活に深く感動を受けました。イエス様を信じる先輩は仕事と勉強で忙しい中でも神様に礼拝を捧げました。秘かに寮を出て徹夜祈りを捧げて帰って来て寮長先生にかかって罰を受けても顔はみんな喜びが溢れました。"イエス様を信じるというのがどんな意味があるのに、礼拝が何か夜遅くまで教会に行き来して罰を受けても怖がらないのか？疑問になりました。
高校3年聖になってお姉さんをついて会社の隣にある教会に通い始めました。しかし、少し神様の恵みと愛について知るようになったとき、アンサンにある職場を移すようになってやめました。続けて教会を通うと心はありましたが、なかなか教会に行くのがやさしくなかったです。結婚して初めの子ど妊娠しました。
ある日はバスに乗って市内のゴザン同を過ぎる中で大きい十字架が建てられた美しい教会が見えました。口から"ワー”という感嘆詩が出ました。あの教会に通う人は良いと思いました。妊娠9ヶ月なった時、恵みと真理教会の区域長が伝道しました。区域長に"通いたい教会があります。これからあの教会に行くつもりです。と話しました。すると区域長は"そうですか？どの教会ですか？”と聞かれました。
実は教会の名前は知らなかったです。“バースが通る道にある赤くて大きい教会です。と話したら区域長が"その教会が我が教会です。”恵みと真理教会です。”としました。その瞬間、驚きました。その年3月にきれいな娘を産んで4月から恵みと真理教会に通い始めました。初めは主日礼拝だけ捧げて大きい恵みを受けて月曜祈り会、平日礼拝、金曜礼拝まで捧げる日が増えました。
そうするうちに二番目の娘のウンジョンを産みました。ウンジョンが生まれて一か月ぶりに急に痛くなって二か月になった時、動脈管手術を受けました。退院をしたらもう100日になりました。その後、健康になろうと思いましたが、同い年の子供と比較すると成長が遅れて時間が経つほどその差が大きくなりました。結局、ウンジョンは知的障害1級判定を受けました。病気に対する免疫力もとても弱くなって教会に連れて行く時にはあつい服を着させて背負って通わせるほどでした。
真で担えられない苦痛の時間でしたが、それで、私は主の前でもっと近く神様を仰ぎ信仰と希望と愛が深くなりました。その時、受けた説教の御言葉を心において心を尽くして神様に祈り賛美しました。私の魂を救ってくださった恵みに感謝して天国と神霊な世界をもっと愛するようになって魂を救うことに積極的に参与して奉仕するようになりました。
ウンジョンが14歳になった時、膝が痛いと言って病院に連れていたら今回には脊柱側弯症の診断を受けました。すぐ手術を受けなければならないと医師の話を聞いてどうするかわからなかったです。手術費も心配で親があげることが何もなくて前が見えなかったです。必ず手術を受けなければならないとしなかったので二か月後手術を日を決めました。そして牧師と伝道師に話して祈りを頼みました。
手術を控えて旦那が手術をさせないようにしました。旦那の重いが強くて仕方なく旦那の考えにしたがいながら心が痛かったです。ウンジョンの症状は酷くなり手術を受けるか知らない状況で私はただ、神様に祈り助けを求めました。そのように1年が過ぎた、ある日急にウンジョンの肘が抜いて病院に行きました。そしてその時病院でひじの手術を受けて膝手術、脊柱側弯症の手術をいっきに受けました。神様の驚くな恵みが望んで難しく大変な手術が成功的で終わりました。予定より早く一か月ぶりに退院しました。それだけでなく、その後、以後回復が期待以上早かったです。そして、どんな後遺症もなかったです。神様の恵みなくてはほかの説明のする方法もない驚くな事でした。
ウンジョンがこの地に生まれ愛してくださる神様を賛美します。このきれいなウンジョンを私に任せてくださって見守ってくださる神様に感謝します。初めはウンジョンが大変な手術を受けると話を聞いて私は願えられない中で願って信じたアブラハムの信仰を考えました。アブラハムのその心と痛い心を少し知ることが出来ました。しかし、一方治療の神様を考えました。現実は前が見えなくて手術を受ける状況ではなかったです。様々な誘惑と迫害もありました。そのときことに"問題を 問題を踏み台にしなさい、神様に信頼と愛を認めていただく機会にしなさい。"と説教してくださった当会長の牧師の御言葉を考え神様の予備し摂理して助けてくださるのを信じ祈り忍耐しました。もっと心を尽くして神様に礼拝し、神様に祈り、区域聖徒達を見て不信者を伝道することに熱心をしました。慰めて下さり、新しい力を与えてくださる主の恵みで生きました。そうしたら、神様は私を認めてくださってこのすべてを成し遂げてくださいました。何よりも一番大きい問題だったウンジョンの手術問題を私が予想しなくて神様の時、神様の方法で働いてくださいました。助け手を多く受けて、足りないのは神様が満たしてくださいました。私の信仰と忍耐と希望が無駄にならないようにしてくださいました。そして私の信仰が成長するようにしてくださいました。
ウンジョンを治療してくださった神様、苦難の中で大きい慰めてくださり、協力して善となるようにした神様に感謝します。エベンエセルの神様、 エホバイレの神様、エホバニシーの神様、エホバシャロームの私たち神様を賛美します。ウンジョンと私ん家族のため多くの祈りをしてくださった牧師と伝道師、聖徒に感謝します。
与えてくださった神様の恵みと愛にいつも感謝して喜びで主の道を従って最善を尽くして尊い栄光である首区域長の職分と聖徒の使命を担えます。

[信仰コラム]

嫉妬を治める秘訣

"穏やかな心は身の命である、しかし興奮は骨を腐らせる。"(箴言 14:30)

心は飛行機の操縦桿、船の舵、自動車のハンドルのように私達の生活を左右する役割と技能をします。聖書には"油断することなく、あなたの心を守れ、命の泉は、これから流れ出るからである。"としました。"嫉妬を治める秘訣"を調べてましょう。
まず、三種類の嫉妬について調べましょう。
第一は、神様の嫉妬があります。神様の嫉妬とは偽りの神に仕えて偶像の前に拝む人間の無分別と腐敗に対する嘆きと怒りの感情だと言うことができます。第二は、神様による人の嫉妬があります。神様の公義を満足させて聖なるイスラエルを回復させようとする嫉妬は信仰的な熱心だと神様に認められました。第三は、人間の堕落した本性から出る嫉妬があります。比較優越感に陶酔されると他人を侮るようになり、比較劣等感を持つようになる時には嫉妬心ができてしまいます。
次は、嫉妬がもたらす悪い結果について調べてみましょう。
一、嫉妬は天倫を犯すこともただの事として行わせます。その事例が創世記 4 章に記録されています。カインが弟アベルを嫉妬して石で撃ち殺した人類最初の殺人事件です。二、嫉妬は裏切りと反逆を図らせます。その事例が聖書の民数記 16 章に記録されています。コラの反逆事件です。嫉妬を治められずモ-セとアロンの領導権に挑戦して反抗する反逆事件を主導したコラとダタン、アビラムの家族は勿論、彼らを追従した 250 人の族長全て神様の懲罰を受けて殺されました。三、嫉妬は被害妄想に落ちるようにして判断を誤らせます。その事例がイスラエルの初代王サウルです。ダビデに対する嫉妬がサウル王の分別力を奪い滅門の災いをもたらせました。四、嫉妬は心の平和と喜びを奪います。箴言 14 章 30 節に"穏やかな心は身の命である、しかし興奮は骨を腐らせる"と記録されました。五、嫉妬は信仰生活に損失をもたらします。航海する船が暗礁に突き当たると破損されて座礁するように嫉妬は信仰を毀損して沈没させます。嫉妬を捨てないと正常的な信仰成長ができません。
最後に、嫉妬を治める方法を調べてみましょう。
嫉妬を治めて心を守るのはあまり容易くありません。しかし、決心して行う者には発展と進歩があるはずです。
一、自分より優れて良くなることを見ると猜忌、嫉妬するのではなく学ぶ点が何であるかを考えるべきです。二、自分を他の人と比較して判断せずに神様との関係で判断しなければなりません。イエス様がタラントの比喩でこれを教訓なさいました。三、最高の価値をキリストを知る知識とキリストのために働くことにおくべきです。使徒パウルは自分が持った価値観を次のように披瀝しました。"しかし、わたしにとって益であったこれらのものを、キリストのゆえに損と思うようになった。わたしは、更に進んで、わたしの主キリスト.イエスを知る知識の絶大な価値のゆえに、いっさいのものを損と思っている。...”と話しました。四、自分が神様の極める愛の中にいるのを常に認識すべきです。イエス様だけを救い主として信じて仕えるならこれは神様の極める愛の中にいるという証拠です。そして神様の愛の中にいるということを意識する卓越な方法は神様に対する愛を積極的に表現しながら生きることです。箴言 8 章 17 節に"わたしは、わたしを愛する者を愛する"としました。
サタンの攻撃方法は代りがありません。私達の心に浸透して根付くよう唆します。人間社会は今日も嫉妬心によって不幸な事件が絶えず発生しています。皆さんは、嫉妬が浸透して根付くことができないよう心を治めて守り、安定した心で生きていくように祝福します。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

時代の表迹を分別しましょう

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

自分がどんな時代に生きているのかを見分けるのは興味深く有益なことです。聖書には、時代を分別にする多くの予言があります。その中で、ダニエル書には、独特の夢と幻と啓示が記録されています。紀元前 586 年、ユダ国はバビロン帝国の侵略を受け、エルサレムの聖殿と町がすべて破壊されて、民は捕虜になって引っていきました。ネブカデネザル王は、広大な領土と多様な民族を支配するための政策の一環として、捕虜の中の英明た少年を抜いて、特別な教育を受けた後、管理に登用しました。
ダニエルも、そのような恵みを受けて首相の地位に上がっている優れた人物でした。ダニエルは、聖霊の感動を着て当時の時代からの歴史の終末とメシアの国が到来するまで世界史の展開過程の重要なプロットを一目瞭然に記録しました。今日はその中に 2 章に記録されたネブカデネザル王の夢と 9 章の七十週をよくみましょう。

まず、ダニエル書　2 章のネブカデネザル王の夢について見てみましょう。

バビロン帝国のネブカデネザル王が夢を見たが、その夢が奇異で夢解きをしなくては見過ごせませんでした。こうしてバビロンの国の師に解釋を指示したが、彼らは解釈することができませんでした。ダニエルは彼の友人と一緒に神に求めました。すると神がダニエルにネブカデネザル王が何の夢を見たのかを教えてくださって、その夢の解釈も知られました。
「王よ、あなたは一つの大いなる像が、あなたの前に立っているのを見られました。その像は大きく、非常に光り輝いて、恐ろしい外観をもっていました。その像の頭は純金、胸と両腕とは銀、腹と、ももとは青銅、すねは鉄、足の一部は鉄、一部は粘土です。　あなたが見ておられたとき、一つの石が人手によらずに切り出されて、その像の鉄と粘土との足を撃ち、これを砕きました。こうして鉄と、粘土と、青銅と、銀と、金とはみな共に砕けて、夏の打ち場のもみがらのようになり、風に吹き払われて、あとかたもなくなりました。ところがその像を撃った石は、大きな山となって全地に満ちました。」（ダニエル書 2：31~35）
「これがその夢です。今わたしたちはその解き明かしを、王の前に申しあげましょう。王よ、あなたは諸王の王であって、天の神はあなたに国と力と勢いと栄えとを賜い、また人の子ら、野の獣、空の鳥はどこにいるものでも、皆これをあなたの手に与えて、ことごとく治めさせられました。あなたはあの金の頭です。」（ダニエル書 2：36~38）。今から 2600 年の以前に発表された将来展開される歴史の概要です。金の頭はバビロン帝国を象徴します。銀の胸と腕はメディヤとペルシャ帝国を象徴します。青銅でできた腹と太ももはギリシヤ帝国を象徴します。鉄の足と足の指はローマ帝国を象徴します。鉄と粘土でできた足と足の指は、歴史の終末に起こる帝国を象徴します。

「それらの王たちの世に、天の神は一つの国を立てられます。これはいつまでも滅びることがなく、その主権は他の民にわたされず、かえってこれらのもろもろの国を打ち破って滅ぼすでしょう。そしてこの国は立って永遠に至るのです。一つの石が人手によらずに山から切り出され、その石が鉄と、青銅と、粘土と、銀と、金とを打ち砕いたのを、あなたが見られたのはこの事です。大いなる神がこの後に起るべきことを、王に知らされたのです。その夢はまことであって、この解き明かしは確かです」（ダニエル書　2：44,45）しました。
人が触れない **「山から切り出された石」**と全面的に神がなされたことだという意味します。**「山から切り出された石」**この石が像の頭から足まで粉々せたのは、この世界の国が完全に滅亡することを意味します。夢の内容と解釈まで聞き感心したネブカデネザル王がひれ伏しておじきダニエルに供え物と香料を彼に与えるようにしました。私たちはすでに過ぎ去った歴史を通し、それを達成されたことを知っています。古代最大の帝国であるバビロン、次いでペルシャ帝国、その次のギリシャ帝国、ローマ帝国です
その次には、括弧の時代です。教会時代が隠されています。その後に反キリストの国が生じるものであり、これは全世界が巨大な国になるでしょう。しかし、最終的には、この世の国は、最終的に神が立てられた国によって完全に絶滅されるといわれました

次は、第 9 章の　七十週に対して説明します。

「あなたの民と、あなたの聖なる町については、七十週が定められています。これはとがを終らせ、罪に終りを告げ、不義をあがない、永遠の義をもたらし、幻と預言者を封じ、いと聖なる者に油を注ぐためです。　それゆえ、エルサレムを建て直せという命令が出てから、メシヤなるひとりの君が来るまで、七週と六十二週あることを知り、かつ悟りなさい。その間に、しかも不安な時代に、エルサレムは広場と街路とをもって、建て直されるでしょう。その六十二週の後にメシヤは断たれるでしょう。ただし自分のためにではありません。またきたるべき君の民は、町と聖所とを滅ぼすでしょう。その終りは洪水のように臨むでしょう。そしてその終りまで戦争が続き、荒廃は定められています。」（ダニエル書 9：24～26）
エルサレムを復元して立てという言葉が出てきた時から　七十週が経過すると、この世は終わりが出るようになるとしました。七十週は、4 つの部分に分けられます。「七十週と 62 週の間に空白期と 1 週」です。「エルサレムを再建するように命令の日から油を注がれた者、すなわち王が起こるまでの 7 週と 62 週が経つであろう″しました。ここでは数の計算と解析する必要があります。この日の数を解釈するための鍵となる聖書の言葉が民数記 14 章 34 節です。
「あなたがたは、かの地を探った四十日の日数にしたがい、その一日を一年として、四十年のあいだ、自分の罪を負い、わたしがあなたがたを遠ざかったことを知るであろう」
一週は 7 日であり、日数を年数に換算する必要があります。アルタシャスタ王がエルサレムを再建するよう命令を下した時から 49 年（7x7 日=49 日、49x1 年=49 年）後にエルサレムが再建されました。それから 62 週（476 年）が過ぎて油そそがれた者、すなわちメシアであるイエスがエルサレムに入城しました。
その次は「六十二週の後に油を注がれた者が切れなくなるだろう」としました。この預言のどおり紀元 70 年、ローマから占領された民は、国を失って全世界に散らばっています。70 週のうち現在 69 週が過ぎて　一週が残りました。この期間は、聖書に「異邦人の時」と呼ばれる期間であり、教会時代の期間です。旧約聖書は、イスラエルの国と関連する時代だけに言及して、教会時代は沈黙しています
そして最後の　一週に関する預言が 27 節に記録されています。**「彼は一週の間多くの者と、堅く契約を結ぶでしょう。そして彼はその週の半ばに、犠牲と供え物とを廃するでしょう。また荒す者が憎むべき者の翼に乗って来るでしょう。こうしてついにその定まった終りが、その荒す者の上に注がれるのです」**この予言が実現するためには、歴史の中で二つの不思議なことが起きなければなりません。　7 年契約を結ぶ両当事者が登場します。　「彼」が意味する反キリストと「多くの人」を意味するイスラエルの民です。イエスの再臨がある前に、イスラエル国の 3 つの要件が行われたり、成熟する必要があります。まず、イスラエルの国がパレスチナに立てられることです。第二に、エルサレムと昔の聖地を完全に占領することです。第三に、昔の聖殿地に聖殿を再建することです。このようなことがどのように行われているかを見てみましょう
1917 年 11 月 2 日、英国は「ベルプア宣言（Balfour Declaration）」を通じて、ユダヤ人はパレスチナに戻って定着することを許してくれました。1939 年までに約 30 万人のユダヤ人がパレスチナに移住しました。そして第二次世界大戦の後の世界各地から 200 万人以上のユダヤ人がパレスチナに来ました。そして 1948 年 5 月 15 日に、国連の承認の下、イスラエル国家が誕生しました。彼らはカザ地域をはじめ、ティラン海峡、エルサレム、ヨルダンの西の地域、シリアの国境の高地スエズ運河に至るまで、国境を広げました
これから後は、聖殿が再建されることです。これのための募金運動が展開されて聖殿債権が世界中で売られて多くのお金が、イスラエル政府に入ってきました。そして、聖殿を建てるための万全の準備ができ上がります。「一週」は、世界の歴史の終末キリストの再臨の直前にある 7 年の患難の時代にキリストの活動時期です。反キリストは、イスラエルと契約を結び、彼らの信仰の自由を許すが、その後半部である 3 年半の期間には、自分の実体を現す出して、その契約を一方的に破棄し、本格的に神に敵対して迫害することになるでしょう

イエスご自身が言うのを**「あなたがたは夕方になると、『空がまっかだから、晴だ』と言い、また明け方には『空が曇ってまっかだから、きょうは荒れだ』と言う。あなたがたは空の模様を見分けることを知りながら、時のしるしを見分けることができないのか。」（ マタイによる福音書 16：2,3）**しました。
聖徒の皆さんは、時代のしるしを注意深く察し私たちの主イエス・キリストの再臨の時期が近い付いて来たのを悟って謹慎して生きて行くのを願います。